

6月14日開通、副都心線沿線ガイド

<http://magazineworld.jp>
第2・第4木曜日発売!

ハナコ

Ken Done

N°925
2008.6.26

[ハナコ] 特別定価400円

夏コンシャスなカラダを
手に入れる
ビューティーサロン
21



おいしそうな店大公開! 副都心線

池袋から渋谷まで
もれなく!

池袋

劇空間が続々オープン

雑司が谷

古くて新しい街を歩く

西早稲田

安くておいしいの宝庫

東新宿

東京一のエスニック街

新宿二丁目

買い物がさらに楽しく

渋谷
明治神宮前
北参道
渋谷

隠れ家が好アクセスに





SINGAPORE

From

Tampo Miki •



1 シンガポールのPRコンサルタント企業トップ10に選ばれたCommunications DNA社の社長、モニカ・アルサゴフさん(右から2番目)とそのご家族。2 バリバリ働く既婚女性たち。日夜仕事と勉強に励み、出世を目指す。3 婚礼衣装はやはり西洋式ドレスが人気。4 婚期は人種によってもさまざまだが、華人は経済的に自立できる年齢を選ぶ人が多い。

キャリアと結婚の両立、これ常識です!

キャリア志向の高いシンガポール人女性にとって、結婚は単なる人生の一ページ。多くの人に於て仕事でのサクセスこそが生きがいであり、夫も家族もそれを当然と考えるのが普通だ。

結婚によって仕事を失うなど、この国ではナンセンス。メイドを雇って夫婦共働きは常識で、「学歴があるのになぜ専業主婦になるのか?」という。家事はメイドまかせで、子供にも家事の手伝いはさせない。それどころか、家事をするメイドを指差して「勉強しないと将来あんなぞ」と子供を諭すのだ。日本では掃除の達人の女優やカリスマ主婦が話題になったりするが、こちらの人たちには「ジョークか?」と笑われてしまう。もは

や、この国には「愛妻弁当」や「お袋の味」ではなく、あっても「お婆ちゃんの味」なのだ。人々の羨望を集めるのは家庭的な女性ではなく、企業を動かすようなキャリアウーマンたちだ。

企業のトップに立つ高収入の女性も珍しくはない。数々の受賞歴を持つPRコンサルタント企業の社長、モニカ・アルサゴフさんもそんなひとりで、結婚・仕事ともに順風満帆。しかし、自分の収入に見合う男性を見つけるのは難しく、結婚をあきらめている人も多い。とはいっても、日本のようにパートナーのいらない女性を惜めと思う傾向は少なく、それよりもキャリアがすばらしければ、それで十分尊敬される社会なのだ。



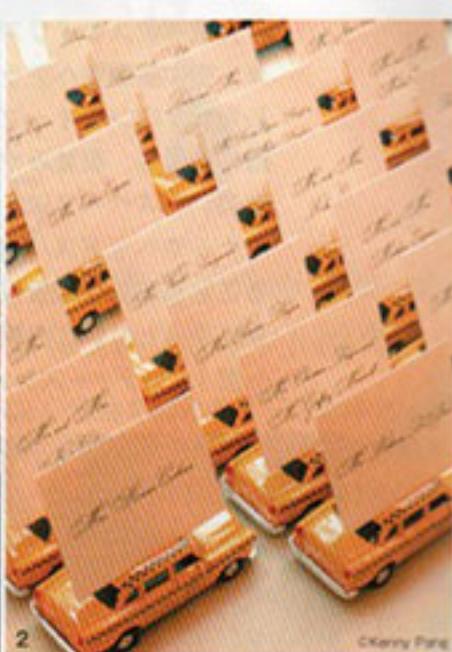
NEW YORK

From

Ichikawa Akiko •



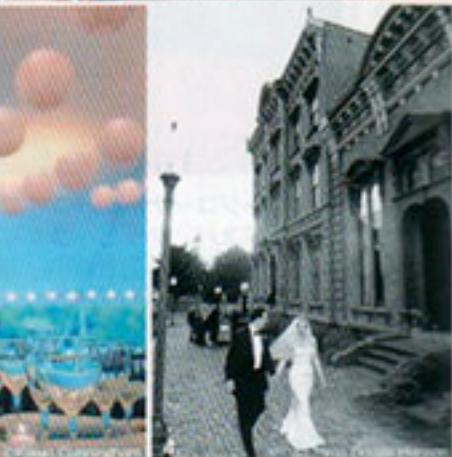
© Tracy Teller



© Kenny Pine



© Tracy Teller



1 大学卒業後からコンサルタントやパーティプランナーとして活躍してきたソラヤさん。www.sorayajollon.com 2.3 彼女が手がけたウェディングのセッティング。カップルの個性に応じたクリエイティビティが重要、とか。4 人気の会場は、アートギャラリーやロフトのほか、会員制のクラブなど。写真のようにマンハッタンを離れ、NY州の北部などカントリーサイドの会場を選ぶカップルも増えている。

新郎も参加型! 中規模ウェディングが主流。

ジューンブライドに憧れるニューヨーカーが多い。6月は、ウェディングプランナーにとつては最大の繁忙期。SORAYA WEDDINGS & CELEBRATIONSのソラヤ・ジョロンさんもNYはもちろん、アメリカ国内、そしてブラジルなど海外まで飛び回る日々だ。

最近のカップルの傾向としては「ウェディングのプランに関し、新婦だけじゃなく、新郎も参加型になってきている」とか。また、かつては200~300人規模の大規模なパーティも多かったが、近頃は125~200人以下の中規模なものが増えているそうだ。内容も「単に豪華なものでなく、本当においしい食事や、いい音楽をゲストとともにシェアしよう」というのが目的の、さりげな

いスタイルが主流になっていると感じます」。

エコがひとつの大きなムーブメントともなっている昨今のNYだが、ウェディングスタイルにも影響はあるのだろうか?

「答えはイエス&ノーね。一生に一度の大切なイベントだから、やっぱり招待状はEメールだけ、ってわけにはいかないでしょう。でも、再生紙を積極的に利用したり、セレモニーに利用した花を病院に寄付したりという形のリサイクルをするカップルも増えているわ」とのこと。ウェディングプランは「最短で3か月から。通常は9か月から1年かけるのがベスト」とか。来年のジューンブライドを狙うなら、もう準備をスタートしないと!